

電池の交換のしかた

使用電池：アルカリマンガンボタン電池LR41
(市販品)

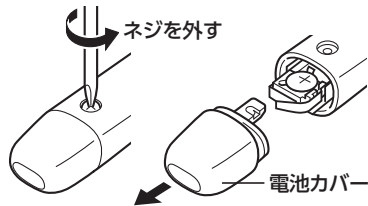
電池交換表示

電源を入れたときに右図の表示が出たら、電池を交換してください。

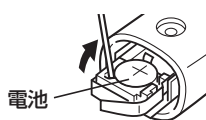
電池交換表示 

交換のしかた

1 本体裏面の電池カバーのネジを、小型ドライバーで外し、カバーを取り外してください。



2 細くて折れにくい棒で、電池を取り外してください。



※電池は飛び出すことがありますので、注意してください。

3 電池を(+を上にして)、図のように入れてください。



4 電池カバーを元通りに取り付けて、ネジで固定してください。



お願い

- お買い求めのときは、本体にお試用電池が内蔵されています。お試用電池は、電池寿命の回数以内に切れることがありますので、ご了承ください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池を使わない。
- 使用済み電池・本体の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

仕様

医療機器 認証番号	219AGBZX00041000	測定精度	±0.05℃(35.00~38.00℃)、 ±0.1℃(32.00~34.99℃) および38.01~42.00℃ ※標準室温23℃にて恒温水槽 で実測測定した場合
類 別	機械器具16体温計	測定範囲	32.00~42.00℃
一般的 名称	電子体温計	使用環境 温 湿度	周囲温度:+10~+40℃、 相対湿度:30~85%RH
医療機器 分類	管理医療機器	保管環境 温 湿度	周囲温度:-20~+60℃、 相対湿度:30~95%RH
販売名	オムロン電子体温計 MC-172L	本体質量	約13g(電池含む)
耐用期間	5年	外形寸法	幅19.6×長さ129.7×厚さ13.2mm
電源電圧	DC 1.5V (アルカリマンガン ボタン電池LR41×1個)	付属品	●お試用電池 (アルカリマンガンボタン 電池LR41×1個) ●収納ケース ●基礎体温表 ●取扱説明書(品質保証書付き) ●医療機器添付文書
電池寿命	約1100回以上 (1日5分間使用で約3年間)		
電撃保護	内部電源機器 ↑=B形装着部 (感温部・フープ)		
感 温 部	サーミスタ		
測定方式	実測		
体温表示	4桁+℃表示、0.01℃毎		

オムロン健康製品・修理・別売品・消耗品に関するお問い合わせは

オムロン
お客様サービスセンター  電話 **0120-30-6606** (通話料無料)
ダイヤルは正確に  FAX **0120-10-1625** (通話料無料)

受付時間 9:00~17:00 月~金 (祝日を除く)
都合によりお休みをいただいたり、受付時間帯を変更させていただくことがありますのでご了承ください。

ホームページ <http://www.healthcare.omron.co.jp/>
※通信料はお客様ご負担となります。(別売品・消耗品は、インターネットでもお求めいただけます。)

製造販売元 **オムロンヘルスケア株式会社**
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後1年以内に故障した場合には、無償修理または交換いたします。
- 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。
- 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷。
(ニ) 本書の提示がない場合。
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
(ヘ) 消耗部品。
(ト) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
(チ) その他取扱説明書(本書)に記載されていない使用方法による故障および損傷。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 補修用部品は製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

品質保証書

このたびは、オムロン製品をお買い求めいただきありがとうございました。製品は厳密な検査を行ない高品質を確保しております。しかし通常の使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、一年間は無償修理または交換いたします。
※製品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。

This warranty is valid only in Japan.

販売名 **オムロン電子体温計 MC-172L**
ご芳名 _____
ご住所 _____
TEL _____

※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただくください。

お買い上げ店名 _____
住 所 _____ TEL _____
お買い上げ年月日 _____年 _____月 _____日

製造販売元 **オムロンヘルスケア株式会社**
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地



取扱説明書 品質保証書付き

オムロン電子体温計 MC-172L 口中用

医療機器認証番号：219AGBZX00041000

けんあんくん

- このたびは、オムロン製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。
- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書は、いつもお手元においてご使用ください。
- 本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。

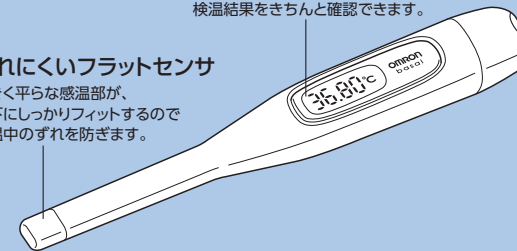
A Good Sense of Health

4桁表示の婦人用
便利な基礎体温表付き

見やすい大型液晶表示
検温結果をきちんと確認できます。

ずれにくいフラットセンサ

大きく平らな感温部が、
舌下にしっかりフィットするので
検温中のずれを防ぎます。

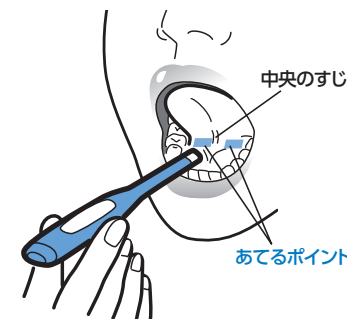


〈付属品〉

- 収納ケース
- 基礎体温表
- 医療機器添付文書

正しい体温計のあてかた

・舌下のつけ根の左右どちらかにあてる



基礎体温を測るポイント

- 目が覚めたら、すぐ床の中で測る。
飲食しない。起き上がらない。
- 毎朝、できる限り同じ時刻に測る。
- 検温後、基礎体温表に記入する。
- 検温中は口を開かない。
□で呼吸しない。
- 毎朝、感温部を舌下のつけ根の同じポイントに当てて測る。

実際の測りかたは、開いて内面を見てください 

安全上のご注意

お使いになる前に、必ずお読みください。
ここに示した警告サインと図記号の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。(表示と意味は次のようになっています。)

警告サインの内容について

- 警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
- 注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例

- 記号は強制 (必ず守ること)
- 記号は禁止 (してはいけないこと)
- △記号は注意 (警告・危険を含む)

警告

- 測定中に体温計の近く(30cm以内)で携帯電話やスマートフォンを使わないでください。正しい検温ができません。病気が悪化する原因になります。
- 検温結果の自己診断や治療は危険です。医師の指導に従ってください。自己診断は、病気が悪化する原因になります。
- 本製品は口中用の体温計です。それ以外(わきや耳など)で検温しないでください。正しい検温ができません。耳などを傷つける原因になります。
- 乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、お子様だけで使用はさけてください。自分で無理に測ろうとするとけがをする原因になります。
- 本体が水などでぬれた状態で測定しないでください。正しい検温ができません。
- 人の検温以外に使用しないでください。動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。

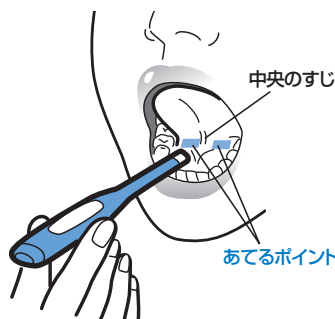
注意

- 本体は、防水ではありません。本体水洗いできるのはフラットセンサの先端から約5cmまでです。本体内部に、水などが入らないようにしてください。検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。
- 分解や修理、改造をしないでください。検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。
- 本体を噛まないでください。事故や故障の原因になります。
- 指定の電池を使ってください。発熱や液漏れ、破裂などにより本体の破損や、けがの原因になります。
- 電池・ネジは、乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が飲み込む原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 長期間(3か月以上)使用しないときは、電池を取り出しておいてください。漏液、発熱、破裂などを起こし、機器を破損させる恐れがあります。
- 万一、電池の液が目に入ったときは、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
- 失明など、障害の原因になります。必ず、医師の治療を受けてください。
- 万一、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。けがなどの原因になります。
- 電池を火の中に投げ込まないでください。電池が破裂する原因になります。
- 電池は、⊕⊖を間違えないように交換してください。漏液、発熱、破裂などを起こし、本体が破損する原因になります。
- 強い静電気や電磁波のある場所で使用しないでください。検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。
- 複数の人で併用しないでください。病原菌の感染する原因になります。
- 電源が入ったまま、電池交換を行わないでください。けがや本体故障の原因になります。

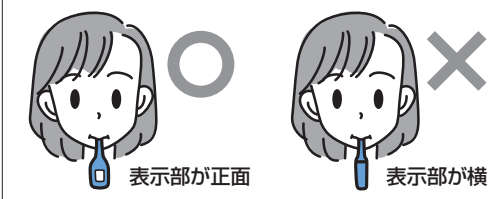
正しく測るために

正しい方法で体温を測らなかった場合、必ずしも測定精度が保証されない可能性があります。

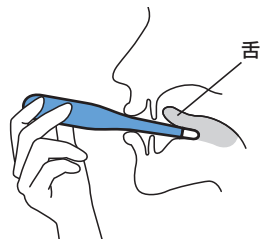
●舌下のつけ根の左右どちらかにあてる



体温計の向き



●舌で押さえて口を閉じる。

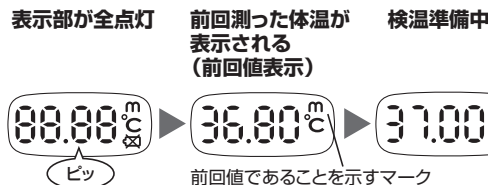


●体温計がずれないように手で支える

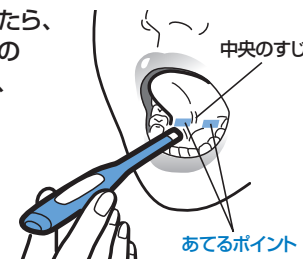


体温の測りかた(検温)

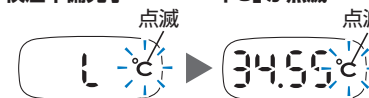
1 体温計の電源を入れる。



2 「℃」が点滅したら、感温部を舌下のつけ根にあて、口を閉じる。

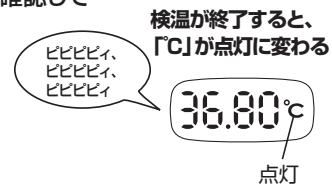


「℃」が点滅すれば
検温準備完了



【ご注意】 外気温(周囲環境温度)が32℃を越えると、感温部が温まり、温度を表示する場合があります。この場合は、感温部をよくしぼったぬれタオルなどで冷やしてから検温してください。

3 約5分たつと、「ピピピィ」とブザーが3回鳴る。検温結果を確認してください。



4 電源を切って、収納ケースに入れてください。

お願い

約30分後(測定していないときは約3分後)に電源が切れますが、電池の消耗を防ぐため、電源は切ってください。

故障かな?と思ったら...

●検温値がばらつく。

ここを確認する	処置のしかた
下記のように測っていませんか。 ・体温計が動いて、感温部がずれた。 ・感温部をあてるポイントが測ることに違う。 ・検温中に口を開けた。	「正しい体温計のあてかた」、「基礎体温を測るポイント」を確認してください。

●電源スイッチを押しても表示部に何も表示しない。

ここを確認する	処置のしかた
電池の⊕⊖の向きが間違っていないですか。	電池を正しく入れ直してください。
・電池が消費していませんか。 ・表示部に「✖」が表示されていませんか。	新しい電池(LR41)と交換してください。

●検温準備中に「37.00°C」が出ない。

「36.95°C」~「37.05°C」が表示される場合は、そのままご使用いただけます。ただし電源を入れ直して何度も「36.95°C」~「37.05°C」以外が表示される場合は、オムロンお客様サービスセンターへお問い合わせください。

検温値以外の表示(エラー表示)

表示	エラー表示の原因	処置のしかた
L	感温部の温度32℃未満のときに表示されます。	エラーではありませんので、そのまま検温を続けてください。
H	感温部の温度が42℃を超えるときに表示されます。	外気温が42℃を超えている可能性があります。感温部を冷やしてもらって再度測りなおしてください。

未永くご使用いただくためのお願い

故障の原因になりますので、下記の注意をお守りください。

- 人の検温以外には使用しないでください。
- 本体や収納ケースに強いショックを与えたり、落としたり、踏んだり、振動を与えたりしないでください。
- 水気が付いたままケース内に収納しないでください。必ず、乾いた布でふき取ってください。

使い終わったら

体温計は、いつも清潔にお手入れしてください。

- 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞って拭き取った後、やわらかい布でから拭き取ってください。
- アルコールを使って汚れを拭き取る場合、表示部にかからないようにしてください。
- 下記の事を守ってください。故障の原因になります。
 - ・汚れを落とすときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
 - ・本体は、防水ではありません。本体水洗いできるのはフラットセンサの先端から約5cmまでです。本体内部に、水などが入らないように注意してください。
 - ・体温計の感温部を、アルコールに浸したり、熱湯(50℃を超える湯)で消毒しないでください。
 - ・超音波洗浄をしないでください。



体温計は、付属の収納ケースに入れて保管してください。

- 下記のようなところには保管しないでください。故障の原因になります。
 - ・水のかかる所。
 - ・高温多湿の所、直射日光があたる所、暖房器具のそば、ホコリの多い所、塩分などを含んだ空気の影響を受ける所。
 - ・傾斜、振動、衝撃のある所。
 - ・化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生する所。